

視聴覚教育

NO 160

発行日 2. 2. 15

発行 岡崎市AVL

編集 広報委員会

平成元年度

視聴覚機器保有調査報告

視聴覚部機材委員会

緑丘小学校 加藤 尚

視聴覚部機材委員会では、平成元年七月末に、各学級の視聴覚機器保有状況を調査した。調査の内容は、**①**機器の保有数と保有率、**②**使用頻度の高い機器、**③**今後の充実を希望する機器の三項目である。詳細は、年度末に刊行される「岡崎の視聴覚教育」第二一号に掲載するが、ここでは、その概略を述べる。

① 機器保有状況（機器保有率）

ア、小中学校を通じていえることは、テレビ、VTR、ビデオカメラの充足度が一〇〇%近くになっていることである。

イ、録音関係機器（ラジオカセットレコーダーなど）は使用頻度の高い機器の一つであるが、充足度が高いとはいえない。

② 使用頻度の高い機器（アンケートの集計より）

ア、使用頻度の高い機器はテレビ、OHPである。これらは、充実したい機器の中でも多くの学校があげており、授業において必要性が高いことを示している。

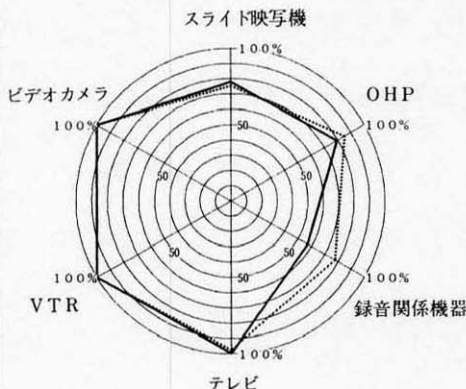
イ、VTRも使用頻度が高くなってきた。教育放送を録画しての利用、ライブラリーの自作ビデオをダビングして活用、学校で自主的に制作したビデオの活用と、活用の幅も広がっている。

③ 今後、充実したい機器（アンケートの集計より）ア、今後、充実したい機器として希望が多かったのは、VTRである。内訳をみると、従来の据え置き型やポータブル型でなく、機動力に富んだカメラ一体型のVTRを希望する学校が増えている。

イ、目新しいところでは、CDプレーヤーやビデオフロッピーレコーダーといった機器を希望する学校が増えている。

教育機器保有率

— 中学校
... 小学校



自作ビデオを活用した社会科の授業

大門小学校 橋本直司

本校では、地域に根ざした学習のあり方を探って、地域にある学習素材を積極的に発掘し、それを授業に取り入れようと研究している。写真やスライドなどの資料集めがさかんに行われる一方、ビデオによる地域教材の撮影も始められている。ビデオ教材は取材内容をそのまま表現でき、授業での活用は効果が大きいと考えている。

六年生の歴史の昭和期の学習にビデオを活用した。自作ビデオの内容は防空壕を先生がレポートするものである。先生が出演したのは、児童の身近な人が紹介する方が親しみをもって教材に接することになると考えたからである。ビデオはわずか三分ほどの内容であるが、戦争の跡をレポートと同じ視点で見ることができ、子ども達は目を輝かして見ていた。



授業では戦災に合ったおばあさんのインタビューの録音を聞かせたが、「当時の苦しい生活や戦争の恐ろしさに、自分は耐えられないだろう」と意見をのべる子がいた。また「お父さんが戦争の話をすると、いつも古いなあと、思っただけで聞こうとしませんでした。勉強をしたら、もつとお父さんから話を聞こうという気持ちになりました」という感想を書く子もいた。ビデオ教材や録音教材は子どもに直接訴えるものがあり、授業が深まるのだと思う。

ライブラリー だより

学校教育用

新しい16ミリ映画を巡回!

本年度購入の16ミリ教材、22本を2月中旬から、各校へ巡回します。是非ご覧下さい。

●国語

敬語と相手を思いやる言葉づかい

20分小高

●社会

日本国憲法

15分小・中

中部地方

24分中学

●理科

夏の星と星座と星の動き

19分小高

地かくの変動

19分中学

脳と神経

19分中学

●道徳

お兄ちゃんは水泳コーチ

30分小学

一枚の新聞

20分小学

生きている今を

21分中学

●特活

がんばれたえちゃん〜木曾馬と少女

45分小学

ドラゴンボール〜悟空の交通安全

15分小学

班長の命令とみんなのいい分

20分小高

りゅうの目のなみだ

20分小・中

物語フランダースの犬

35分小・中

しあわせ色の小さなステージ

45分小・中

夏服の少女たち

30分小・中

恐るべきシンナーの害

19分中学

たばこと健康

20分中学

少年と花

30分中学

●保健

虫ばになった王様

13分小低

B型肝炎

28分中学